



『夏休みを迎えるにあたって』

校長 倉島 敬和

明日から夏季休業が始まります。子供たちにとって待ちに待った夏休みです。今回お伝えする結果は学校全体の概況です。お子様一人一人の学習状況は、個人面談において各担任からお話しさせていただきます。

さて、子供たちにとっての夏休みは、過ごし方によっては普段できない経験や体験を積むことができる絶好のチャンスとなります。ですから「この夏休みをどう過ごすのか」ということがとても大切です。また、生活リズムを崩さないためにも家庭学習を進めていくことも大切です。例えば、学校から出される宿題としてAIドリルや東京都ベーシックドリルがあります。夏休みを迎えるにあたって、子供たちにはしっかりと目標を決めて生活してほしいと思います。

私の願いは、夏休み後に子供たちが心も体も大きく成長した姿を見ることです。

4月13日に実施された足立区の学力向上に関する調査の最終結果です。夏休みを迎えるにあたって、加平小学校の子供たちの状況をお伝えします。以下の表は、令和4年度と令和5年度の結果です。

	学校全体		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
目標値 (R5)			74.4	74.8	72.7	71.3	58.1	60.4	56.0	60.1	60.9	50.5
通過率 (R5)	88.1	86.0	89.7	96.9	82.3	75.0	92.9	86.9	87.6	83.5	87.7	87.7
目標値 (R4)			69.2	77.2	68.1	71.4	56.8	62.1	53.8	60.1	56.9	48.3
通過率 (R4)	87.0	87.7	78.2	87.5	88.3	92.6	89.9	88.9	89.7	83.5	88.8	85.0
正答率 (R5)	82.1	78.3	90.8	91.6	84.8	79.4	81.8	75.9	78.4	71.6	76.3	74.7
正答率 (R4)	77.9	80.0	83.5	90.0	83.1	89.1	77.6	78.0	73.5	74.0	72.9	71.0

◎目標値：本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値

◎通過率：目標値以上の正答があった児童・生徒の割合（目標値以上の児童・生徒数÷受験者数×100（%））

◎正答率：出題数中何問正解したかの割合（正答数÷出題数×100（%））

例えば、学校全体の正答率を見比べてみます。昨年度と比較して国語は4.2ポイント上回り、算数は1.7ポイント下回りました。次に通過率を見比べてみます。通過率とは、前年度の学習内容が概ね理解できていると考える正答率を目標値として、各学年何人がその目標値を超えているかという割合です。学校全体で見ると国語88.1%、算数86.0%と両方とも86%を超える数値となっています。令和4年度と比べると国語の通過率は1.1ポイント上がったのですが、算数は1.7ポイント下がってしまいました。全体として8割を超える子供たちが前学年の学習について大体理解していると考えられます。逆の見方をすると1~2割近い子供が前学年の学習の理解が不十分ともいえます。算数の通過率が下がった要因の一つとして、基礎的な学力の定着が十分でない学習内容(単元・領域)があるということです。夏季補習教室や夏休みの宿題としてあるAIドリルなどを活用して定着が図れればと考えています。

また、今年度の学校全体の正答率と通過率を比較して見比べてみます。今年度の国語の正答率が82.1%、通過率は88.1%、算数では正答率が78.3%で通過率が86.0%とどちらも通過率の方が高い数値になっています。これは、全問正解の子供は少ないのですが、目標値を超えた子供が多かったことを示しています。

加平小学校では、子供たち一人一人の学力調査の結果を分析することで、子供たちの基礎学力の定着状況を考察し、さらなる学力向上を目指した教育活動を進めてまいります。

明日から長い夏休みに入りますが、これまで学習してきた学習内容の復習に力を入れるとともに、夏休みが明けてもすぐ今の学校生活のままスタートできるように、規則正しい生活の励行をお願いします。